

タイについて知ろう

～世界を拓けようわくわく体験～

重複障がい(肢体・知的)全学部
総合的な学習の時間
自立活動
資料の活用

ねらい

- タイの衣装や楽器、日用品に触れることでタイについて知ることができる。
- 経験したことから興味・関心に応じて資料を選択することができる。

学 習 展 開

- ① 「タイについて知ろう」というテーマを伝え、外部講師の紹介をする。
- ② 準備されている体験コーナー、香辛料の香り、タイの民芸品、民族衣装、お金や書籍、踊りなどについて紹介する。
- ③ タイの音楽が流れる中で、参加者と講師の方みんなが輪になって踊る。
- ④ 各自体験したいコーナーへ分かれて、講師の説明を聞いたり、一緒に体験したりする。



各体験コーナー

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は司書教諭、教員と相談して、外部講師との連絡調整を行う。
- 学校司書は、教員と相談して、掲示や参考図書を準備する。
- 司書教諭と学校司書は、担当教員とともに講師との打ち合わせを行い、当日の体験内容について相談する。
- 司書教諭と学校司書が、全体指導を協力して行う。

★指導のポイント

- ◆ 子どもたちの実態に応じた体験活動になるように、打ち合わせをし、たくさんの資料を準備する。
- ◆ 講師の方と子どもたちをつなぐことができるよう、必要な場所へ講師の方を導く。
- ◆ 子どもたちが、安全に体験できるよう全体の様子に留意する。

資料

「体験取材！世界の国ぐに19タイ」ポプラ社、「国旗の絵本」図書印刷株式会社
「行ってみたいなあんな国こんな国アジア①②」岩崎書店、「君にもできる国際交流
④タイ・ミャンマー」偕成社、「世界のことばあそび絵本」大日本印刷 など